

科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」推進事業
第3期中期計画フォローアップ（令和6年度実績）
【RISTEX】

1. 令和6年度における活動の概要

（総括）

客観的根拠に基づく科学技術・イノベーション政策の形成に寄与するため、政策ニーズを踏まえつつ、政策の形成や改善に将来的につながり得る基盤的な成果の創出を目指した研究開発の推進のため、採択中の研究課題についてのマネジメントを実施するとともに、終了プロジェクトの終了評価を行った。

（1）公募

公募については令和4年度にて終了しており、令和5年度以降は実施していない。

（2）マネジメント

（活動の概要）

採択している研究課題について、ハンズオンマネジメントを通じて、研究開発期間内に創出された科学的知見（エビデンス）が政策に反映されるよう効果的に研究開発を推進した。

（令和6年度中のマネジメント対象プロジェクト数）

11件：R3採択7件、R4採択4件

プログラム総括による面談実施回数 17回

プログラムアドバイザーによるサイトビジット・打合せ実施回数 8回

（プロジェクト全体のマネジメント事例）

① プロジェクト間連携

複数プロジェクトのシナジー効果による、プログラムとしての研究開発成果の最大化を目指し、「プロジェクト間連携促進イニシアティブ」として複数プロジェクトが連携した活動を募集。希望するプロジェクトに対して、審査の上、追加的な予算措置を講ずる取り組みを推進するもの。※募集の結果当該年度は応募なし。

募集期間：令和6年5月24日（金）～6月24日（月）

募集対象：(a)政策プログラム内のプロジェクト（現行/過去）間連携

(b)RISTEX内の他領域・プログラム プロジェクト間連携

(c)SciREX事業内のプログラム連携

予算規模：政策プログラムの現行プロジェクトを対象に1プロジェクト当たり

40万円（直接経費）を上限

②政策のための科学 研究会

本プログラムの目的である「政策のための科学」、特に政策への成果の実装に関する知見については、学術的な新規性や独自性とは異なるプラクティカルな要素を多分に含むものであり、論文化はもちろん報告書等に掲載されにくいナラティブな形式であることが多くみられることから、プロジェクト間であらためてこうした「政策のための科学」をめぐる様々な知見の共有および交流の促進をはかることを目的として新たに研究会を開始し、過去の研究代表者からの講演と質疑応答を実施した。

第 5 回

開催日時：令和 6 年 9 月 10 日（火）9:55～11:45

登壇者：伊藤由希子 津田塾大学 総合政策学部 教授

参加者：約 35 名 プロジェクト関係者、プログラム総括・アドバイザー等

第 6 回

開催日時：令和 6 年 12 月 2 日（水）16:00～17:45

登壇者：阿部 彩 東京都立大学 人文社会学部人間社会学科 教授
兼 子ども・若者貧困研究センター長

参加者：約 35 名 プロジェクト関係者、プログラム総括・アドバイザー、RISTEX の
プログラム関係研究者等

第 7 回

開催日時：令和 7 年 2 月 10 日（月）16:00～17:45

登壇者：加納 信吾 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授

参加者：約 30 名 プロジェクト関係者、プログラム総括・アドバイザー、RISTEX の
プログラム関係研究者等

（3）終了時評価

（活動の概要）

令和 6 年度中に終了するプロジェクトの終了時評価を実施した。

（実施状況）

7 件の対象プロジェクトについて終了時評価を実施した。評価結果については RISTEX ウェブサイトにて公開予定。

対象プロジェクト

課題名	研究代表者
デジタルツイン都市を活用した危機管理下での政策決定支援	佐々木 邦明 早稲田大学創造理工学部社会環境工学科 教授
木質バイオマス熱エネルギーと地域通貨の活用による環境循環と社会共生に向けた政策提案	豊田 知世 島根県立大学地域政策学部 准教授
感染症対策と経済活動に関する統合的分析	仲田 泰祐 東京大学経済学研究科 准教授
幼児教育の「質」が子供の学力や非認知能力に与える効果の検証	中室 牧子 慶應義塾大学総合政策学部 教授
【共進化枠】大学発シーズの上市に関わる価値連鎖診断プロトコルの開発と実装	坂井 貴行 神戸大学バリュースクール 教授
【共進化枠】ライフサイエンスにおける誠実さの概念を共有するための指針の構築	田中 智之 京都薬科大学病態薬科学系薬理学分野 教授
【共進化枠】研究分野の多様性を踏まえた研究公正規範の明確化と共有	中村 征樹 大阪大学全学教育推進機構 教授

（4）広報・成果発信

（活動の概要）

推進中および終了したプロジェクトのうち、特に著しい成果のあったプロジェクトを対象に「POLICY DOOR」における記事作成やメディアの活用等を通じた成果の発信を行った。

（実施状況）

① POLICY DOOR 記事公開数 : 4 件

「研究者が国を動かす戦略と実践」 —エビデンスとナラティブで社会実装を加速する—

（牧 兼充：早稲田大学商学学術院 大学院経営管理研究科 准教授

公開 URL : <https://www.jst.go.jp/ristex/stipolicy/policy-door/interview-09.html>

【座談会リポート】 「新型コロナ対策を振り返る：専門家の視点から考える課題（1）」

コロナ禍をめぐる専門家の貢献と責任

（大竹文雄 : 大阪大学感染症総合教育研究拠点特任教授／京都大学経済研究所特任教授

山縣然太朗 : 科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム 総括

小林傳司 : RISTEX センター長）

公開 URL : 準備中

【座談会リポート】 「新型コロナ対策を振り返る：専門家の視点から考える課題（2）」

人文・社会科学の貢献可能性

(大竹文雄：大阪大学感染症総合教育研究拠点特任教授／京都大学経済研究所特任教授

山縣然太朗：科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム 総括

森田朗：RISTEX 前センター長、科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム 前プログラム総括)

公開 URL：準備中

「科学的助言者の使命と葛藤」（仮題）

(西浦博：京都大学大学院医学研究科 教授)

公開 URL：準備中

（5）プログラムとしての成果の取りまとめの検討・準備

（活動の概要）

プログラムの終了に向け、スケジュールやとりまとめの方向性などについて、関係者による検討と意見交換を行った。

- ・プログラム会議等（総括、アドバイザー、委員、RISTEX）における意見交換
- ・プログラム内タスクフォースの設置と活動
- ・文部科学省 政策科学推進室との意見交換

（6）その他特記事項

SciREX センターとの協力

① SciREX セミナー

SciREX セミナーにおいて、RISTEX のプロジェクトから話題提供、研究代表者等からの研究報告およびパネルディスカッションを実施した。

第 51 回 SciREX セミナー

「科学と政策：人口減少期の持続可能な農林地管理と地域における合意形成」

開催日時：令和 7 年 3 月 10 日（金）18:30-20:00

開催形態：霞ヶ関ナレッジスクエア現地とオンラインウェビナーのハイブリッド形式

話題提供：香坂 玲（東京大学大学院農学生命科学研究科 教授）

ディスカッサント：中川 善典（総合地球環境学研究所 教授／上智大学大学院地球環境学研究科 教授）

：高取 千佳（九州大学大学院芸術工学研究院 准教授）

ファシリテーター：下田 隆二（東京工業大学（現 東京科学大学） 名誉教授／政策研究

大学院大学 客員教授／SciREX センター 事務総括)

② SciREX サマーキャンプ

サマーキャンプ相談会に相談員として参加

2. 事業終了を見据えた計画に対する進捗状況

該当なし

3. 中期計画の見直しのポイント

該当なし

以上